



人権教育だより R7第6号

令和8年(2026年)3月18日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

1年間お疲れさまでした。この1年どうだったでしょうか。大きく成長できたと感じる人もいれば、きつかったなど感じる人もいます。私は2学年の生徒とは授業で関わりがありましたが、他学年の生徒とは掃除や委員会の活動等での関わりで、もう少し関われば良かったという反省がありました。次年度は、もう少しコミュニケーションをとれるようにしていきたいと思います。

今年度の人権教育では、代議委員が毎月の校内掲示の貼り替えやあいさつ運動、鹿農祭でのありがとうメッセージの展示など、頑張っていました。また、1年間振り返ると、1年生は、1学期「情報モラル」、2学期「外国人の人権」、2年生は、1学期「障がい者と人権」、2学期「災害と人権」について学びました。また、人権講話では「ハンセン病と人権」について学びました。しかし、部落差別をはじめとするあらゆる差別についての学習は、まだまだ数多くあります。一人一人が、これからも学び、差別のない社会を作っていきましょう。

1月15日(木)人権LHR

1年生「子どもの人権」

動画視聴を通して、子どもの権利を確認し、自分や他人を大切にするための取り組みを考えました。

【生徒感想】(抜粋)

- ・このクラスは仲のいいクラスで最高ですが、もっと仲良くなれると思うので、もっと仲良くしたいです。
- ・相手の性格を知ったり、否定する言葉を使わないなどの工夫をするといい未来がつくれると思う。

2年生「統一応募用紙について」

社用紙と統一応募用紙を比べ、公平な就職選考をするために不要な情報について考えました。

【生徒感想】(抜粋)

- ・初めて聞く単語が多く、来年受験する人としてもっと学んでいこうと思いました。
- ・自分の能力を土地、家族、宗教で決められるのはおかしいし、変えていかなければと思いました。

3学期心のアンケートの結果について

2月16日(木)に実施しました。昨今のSNSにおける暴力行為等の動画の投稿・拡散を受けて、暴力行為やいじめについて、調査しました。

いじめや暴力行為を受けたと答えた生徒はほとんどいませんでした。「学校が楽しいか」という項目では、1,2年生は約85%の生徒が楽しいと感じている一方、10%弱の生徒が楽しくないと感じていました。また、「困ったことや悩みがあるときに誰に相談しますか」という項目では、「友人」が1,2年生ともに76.5%、「保護者」が1年生76.5%、2年生56.9%という結果でした。また、「相談しない」と答えた生徒が各学年約10%でした。誰かに相談することはとても大切です。また、「誰」に相談するかも大切です。一人にこだわらず、さまざまな考えを聞きながら、よりよい人生を生きていきましょう。



人権コラム「自分ごととして・・・」

先日、いじめ防止や情報リテラシー、SOSの発信についての動画等を体育館で視聴し、皆静かに、集中して取り組みました。しかし、後で2,3人に感想を聞くと、「覚えていません」や「寝てました」など残念な感想がありました。ある意味、いじめなどは自分に関係ないと思っているからなのかもしれません。しかし、その後、県内でもいじめの重大事態のニュースなどがありました。いつ、どこで関わってくるか、わかりません。ちょっとした言動やSNSの一言が取り返しのつかないことに発展しているのが、現在の状況です。もし、自分や自分の大切な人がそのようなことにあったらどうするのか、自分のこととして捉えていってほしいと思いました。